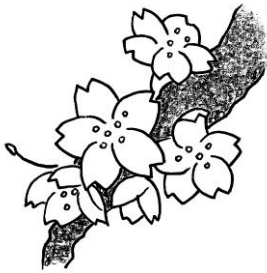


令和6年3月1日



学校だより

東京都立石神井特別支援学校長

柳澤 由香

豊かに生きる

草木の新芽が萌え出ずる季節となり、春の訪れとともに節目の時期となりました。

本校は、令和4年度、5年度の2年間にわたって、東京都教育委員会より「体育健康教育推進校」に指定され、この間、学習指導要領及び東京都教育委員会の教育目標等に基づき、学校において、運動やスポーツとの多様な関わりを通して、健康で活力に満ちた生活をデザインする資質や能力を育成するため、効果的な体育健康教育を実践的に研究し、その効果の普及に取り組みました。そして、児童・生徒のスポーツへの興味・関心を高め、スポーツに親しむ態度の育成や健康の保持・増進に努めて来ました。

1人1台端末を活用した自宅でできるエクササイズ動画の配信やスポーツアプリを活用して子供たちが楽しみながら身体を動かせる機会の創出を図る、運動・生活習慣アンケートを実施し、健康改善の要点について外部専門家からアドバイスをいただいて記事にして全校配信する等、様々な角度からスポーツライフの推進、健康的な生活スタイルの確立を目指しました。

2月22日には、日本ボッチャ協会強化指導部長 村上光輝氏と東京パラリンピックボッチャ日本代表メダリスト 廣瀬隆喜選手を講師にお招きして、公開授業、成果発表会を実施し、これまでの活動報告をしました。講師のお二人には、2日間にわたって来校いただき、全学年の児童・生徒の指導に当たっていただきました。間近で見る廣瀬選手の巧みな技術に魅了され、廣瀬選手がボールを投げる時に、真横から真剣なまなざしで注目する子供たち。中には、何とか自分も同じようにボールを操れるようになりたいと考えたようで、それまで自分がしていた投げ方を変えて、廣瀬選手と同じような方法の投げ方を真似て投げる子供たちもいました。どうしたらできるようになるのか、上達するのかというポジティブな姿勢と意欲で漲る子供たちのエネルギーは、とても素晴らしいものでした。

日々、子供たちは、いろいろなことにチャレンジし、自らの世界を拓き、深めながら、より豊かな生活を紡いでいます。引き続き、子供たちの将来を見据え、多様な学びの場を創出しながら体育健康教育を推進し、子供たちが、生涯にわたってスポーツに親しむ基礎を築き、健康で充実した生活を送るための力や逞しく生きるために必要な体力を育んでいきます。そして、家庭、地域、社会と連携し、社会全体で子供たちの成長を支え、明るい未来を切り拓いていけるよう取り組んでまいりますので、御理解・御協力の程、よろしくお願いたします。